

団体名：クリスタ長堀株式会社
所管局：建設局

資料 1

概況

○平成29年度第2四半期（平成29年4月1日～平成29年9月30日）の経営状況について

売上高	734	(前年度比 ▲10)	(金額の単位は百万円)
営業利益	229	(前年度比 ▲35)	
当期純利益	192	(前年度比 ▲41)	

入居率 平成29年9月末現在 全体98%
(平成28年度末現在 全体99%)

○平成29年度第2四半期（平成29年4月1日～平成29年9月30日）までの実績

・前年度同期実績との比較

(金額の単位は百万円)

	29年度	28年度	増減	増減説明
売上高	734	744	▲10	賃料収入 ▲7
営業費用	505	479	+25	修繕維持費 +13 人件費 +4 業務委託費 +2 減価償却費 +2
営業利益	229	265	▲35	
税引前当期純利益	192	233	▲41	
法人税等	0	0	-	
法人税等調整額	-	-	-	
当期純利益	192	233	▲41	

・平成29年度第2四半期予算との比較

(金額の単位は百万円)

	決算	予算	増減	増減説明
売上高	734	767	▲32	賃料収入 ▲26
営業費用	505	594	▲89	修繕維持費 ▲71 水道光熱費 ▲12
営業利益	229	172	+56	
税引前当期純利益	192	131	+60	
法人税等	0	0	-	
法人税等調整額	-	-	-	
当期純利益	192	131	+60	

団体名： クリスタ長堀株式会社

所管局： 建設局

経営改善に向けた課題及び取組

29 年度の目標及び取組	これまで（29 年度 1・2 四半期）の取組及び成果		今後（29 年度 3・4 四半期）の目標及び取組
（課題） ◎収益の確保 ○賃料収入目標 12.0 億円 ○民間事業者の地下街運営の専門的なノウハウを活用し、テナント売上高の確保を行うとともに地下街MD（マーチャンダイジング）に即した優良テナントの誘致 ・営業方針の決定と方針に基づく販促活動（イベント及び情報発信など）の実施 ・地下街運営事業者への営業状況報告のヒアリングと今後の取組みの確認 ○販売促進経費について、内容精査や手法の見直しなどによる削減の検討 ○資金残高 平成 29 年度末 20.5 億円（目標） （中期経営計画 20.3 億円） （特定調停事業計画 9.1 億円）	（これまでの取組内容） ○営業方針の決定と方針に基づく販促活動の実施 20 周年アニバーサリーフェア プレミアムフライデー 10%チェックバックキャンペーン 情報誌「CRYSTYLE」の発行 地下鉄吊り広告でのイベント告知 など ○月例報告会の実施 ・毎月次に地下街運営事業者への前月営業状況報告のヒアリングと今後の取組みの確認（リーシング状況など） ○販売促進経費の見直しについては実施時期について地下街運営事業者と検討	（成果） ○賃料収入 第 1 四半期 2.7 億円（前年 2.8 億円） 第 2 四半期 2.8 億円（前年 2.8 億円） 計 5.5 億円（前年 5.6 億円） ○テナント売上高 第 1 四半期 21.7 億円（前年 21.8 億円） 第 2 四半期 22.8 億円（前年 22.0 億円） 計 44.5 億円（前年 43.8 億円） ○新規店舗など 地下街MDに即した店舗の誘致 （ディーン&デルーカカフェ、ディファレンスなど） ○販売促進経費の見直しはテナントとの調整を経て平成 31 年度から実施の方向 ○資金残高 平成 29 年 9 月末 26.2 億円	（今後の目標及び取組） ○引き続き賃料収入確保に努める。 ○営業方針に基づく販促活動の実施 ・イベント開催 （ハロウィンフェア、クリスマスフェア等） ・情報発信 （地下鉄吊り広告、情報誌「CRYSTYLE」発行等） ○空店舗の解消 ○販売促進経費の見直しについて、テナント売上への影響を考慮しながら、地下街運営事業者と連携してテナントとの調整を実施（継続） ○次年度予算の検討・決定 地下街の現況及び資金状況などを踏まえ、平成 30 年度予算を決定 ○資金残高 平成 29 年度末 20.5 億円（目標） （中期経営計画 20.3 億円） （特定調停事業計画 9.1 億円）
◎地下街施設の設備更新 ○平成 29 年度予定の設備更新を着実に実施 電気設備及び機械設備 3 件 ・中央監視設備 ・防災監視設備 ・熱源設備 ○中長期的な地下街活性化の検討 ・ターゲットに即したゾーニング ・地下街のにぎわいづくり	○電気設備及び機械設備 業者選定と工事発注を実施 ・中央監視設備更新工事 ・防災監視設備更新工事 ・熱源設備更新工事 ○地下街各タウンの活性化については投資効果やMDも精査しつつ地下街運営事業者と引き続き検討 ○地下街のにぎわいづくりについては来客者の増加や施設イメージの向上の観点からワーキングチームにより引き続き検討	○電気設備及び機械設備 ・中央監視設備更新工事を着手 ・防災監視設備更新工事を着手 ・熱源設備更新工事を着手 ○顧客ターゲットや課題認識については地下街運営事業者と合意	○電気設備及び機械設備 ・中央監視設備：3 月完成 ・防災設備：3 月完成 ・熱源設備：3 月完成 ○地下街各タウンの活性化については経営への影響や施策の有効性の検証など地下街運営事業者と検討（継続） ○地下街のにぎわいづくりについてはワーキングチームでの方針とりまとめ（3 月） ○次年度設備更新内容の検討・決定 予防保全の考え方を取り入れた次年度設備更新計画を決定